

事業者職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、療育内容に適した配慮がなされているか	<input type="radio"/>			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			教室ごとに毎月ミーティングを実施
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		2023年9月開所のため今後繋げていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	外部評価なし
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			メンタルビジョントレーニングの講習会・各教室の担当ごと定例会で勉強している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児発管が家族と連携をとり作成している・相談員と情報共有、サービス利用計画書やモニタリング報告書も参考にしている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			グループオリジナルはないが児発管ごとに一般的ツールを利用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			継続させる目的と効果を踏まえて変化させている 2週間ごとにレベルアップさせて1か月単位でプログラムを決めている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			長期休みは普段できない調理をしている・スケジュールは細かく決めすぎないようにしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別は学習、MVT 集団は運動・個別も集団適応も重要とし療育している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝礼を行っている 出勤時間がバラバラな日は工夫が必要
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			終礼のような形式だつては実行していない 情報共有はなされている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			専用ツールのHUGに記録している	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が参加
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				学校から週刊のプリントをもらう 家族を主として学校関係の情報を共有
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	非該当
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	非該当
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	非該当
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○		児発管は研修に参加、市内の毎月の協議会にもほめてこグループで数名参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	必要性によって今後検討する
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	月1回参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	グループではペアレントトレーニングを実施しているところもあるが、MiraiQでは相談や面談時に助言等の形となっている
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				電話、送迎時、HUGを用いている 相談がなくても会話を心掛けている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後行う予定

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口を制定している 小さな疑問や不満が大きくなる前に相談してもらえるように会話を心掛けている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のほめてこだより発行 Instagramで活動内容を発信 HUGで各種お知らせやイベント案内
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			法令に則っている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者からのアドバイスを活かしている
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	△		マニュアルはあり定期的な見直しをしているが周知に至っていない可能性がある
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	△		年二回、法令に基づいて実施している
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	△		年二回教室ミーティングで研修 法令に基づいて実施している
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当児がない
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	△		医師の指示書ではなく保護者からの伝達事項である
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	△		対応はしているが事例が少ない